

国際奉仕委員会： 斎藤 正君

世界理解月間には勿論のこと、それ以外にも、地域在住外国人の卓話、懇親の機会を設けてゆきたい。

ロータリー財団委員会： 芦田義重君

ロータリー財団の任務は教育的、人道的プログラムに資金を提供する事によって世界の人々の理解と友好的関係を助長する事です。又、11月は「ロータリー財団月間」に指定されていますので皆さんの深い御理解と御協力をお願い致します。

米山奨学委員会： 早川滝雄君

現在の日本における外国人留学生の受け入れ規模は、残念ながら欧米諸国に比べて極めて貧弱である。日本政府が留学費用を支出する、いわゆる「国費留学生」に対しては、その受け入れについていろいろな便宜がはかられているが、それ以外の留学生（外国政府派遣留学生をふくむ）に対する受け入れ体制や民間の奨学制度はまだ不備である。米山奨学事業は、このような留学生を対象とする民間最大の、国際奨学事業である。特にアジア諸国が現在最も必要としている学問的、技術的指導者の養成に果している役割は高く評価され、21世紀を展望する日本の留学生受け入れ政府からも、その一層の拡充発展が大きく期待される。米山奨学事業の使命はたんに金銭的援助だけではなく、留学生とロータリアンとの交流もその大きな使命である。留学生は母国とは言語も風俗も習慣も違う日本で、われわれの想像以上に孤独な思いをして勉強を続けているので、彼等の多くは日本人の中に心の友を求め、日本人の生活や家庭をもっと知りたがっています。この意味においてロータリークラブが留学生のお世話をし、ロータリアンが留学生のカウンセラーとなって相談相手となり、彼等に常に対話と親睦の機会を提供するこの事業こそ、留学生達にとっては他に例のない特色ある制度である。

6月20日例会： クラブアッセンブリー

6月27日例会： 会長、幹事慰労会



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例会日

1989. 6 . 13

累計 No 127

当年 No 48

会長／梨本 清一

幹事／今井 克義

SAA／米山 忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 自己紹介卓話 近藤勝男君

出席： 本日の出席 47名中36名

先週の出席率 47名中43名 91.49%

先週のメイクアップ： 6月7日 第4分区会長幹事会（加茂RC）へ 梨本清一君 今井克義君

6月7日 新潟南RCへ 山上茂夫君

6月10日 地区協議会（桐生南RC）へ 梨本清一君 平松利朗君

稲田憲治君

6月11日 “ 平松利朗君 稲田憲治君 木宮 隆君 早川滝雄君

本間茂男君 笹原勝治君 斎藤 正君

6月12日 三条南RCへ 山上茂夫君 佐藤啓策君

ビジター：三条RCより 斎藤権八君 金沢興宗君 岩井数央君 五十嵐力君 内山辰策君

伊藤広一君 広岡豊作君

三条南RCより 橋本和雄君 吉田秀治君 荏沢喜一郎君 豊島 豊君

丸田肇一君

会長挨拶： 梨本清一

桐生市での地区協ご参加の皆さま、ご苦労さまでした。平松次年度会長、稲田次年度幹事はじめ各委員長予定者の皆さま方、しっかり勉強してこられたと思いますが、如何がございましたか？次年度の活発な活動を大いに期待したいものであります。私は次年度は青少年交換の地区委員であります。1年交換も夏期交換も西ドイツと締結を致しまして、その初年度であります。大変な委員会に所属させられたものです。皆さま方のご協力を是非ともお願いしたいし、またご子弟をドイツにやりたい方はどしどし申し出て戴いて尽力したいと存じます。さて、先週は中国天安門広場の悲劇に胸を痛み、私見を述べさせて戴きましたが、今朝のトップニュースは幼女バラバラ殺人事件でありました。それが大量殺人であれ、ひとりのあどけない幼女の殺人であれ、残忍であるということこ

とに罪の重さは同じです。先週私は人間の命の偉大さについてお話しましたが、今日は再度、言葉を変えての、お話を聞いて載きたいと思います。これは1人の重症脳性マヒの娘をもつお母さんの手記の抜き読みです。それとのお嬢さんの詩です。お母さんの手記一省略。貴美子さんの詩より。『おにんぎょう』 かわいそうなおにんぎょう いちにちじゅうじっとしている なんにもできない じぶんであるくこともできない まるでわたしみたい あきればぽいっとすてられる ほんとにかわいそう わたしはおにんぎょうにはなりたくない もうなっているのかもしれない でもここがあるのでいじょうぶかな わたしにはだれかがいる おにんぎょうはひとりぼっち 『つばさ』 とりにはつばさがあるんでしょう にんげんにはどうしてつばさがないの つばさがあればいいのに わたしにつばさがあればまいにちあのひとのところへいく あのひとのまどべにとまるの そしてまどをとんとんたたくの あのひとはびっくりするでしょう きゅうにわたしがいったから でもそれはむり つばさなんかあるわけない つばさがほしい どうしてもほしいあのひとのところへいくために かみさまおねがいわたしにつばさをあたえて そのかわりになんでもします あのひとのところへいけるのなら この2点の詩に担任の先生は次の様なコメントをしております。人形に自己を観、翼を得て恋人の窓辺に飛んでいきたいと叫ぶ貴美子の詩はつまらぬ空想では決してない。希望、真実の叫びがリアルに謳われていて立派な詩である。悲しくもないのに悲しげな言葉をつらね、殊更難解で大仰な言葉を使ってこれでもかこれでもかと書きたてるおとなの詩よりもはるかに胸を打つものがある。私も全く同感であります。『おんなのこ』 おてんばなおんなのこ おちゃめなおんなのこ やさしいおんなのこ なきむしなおんなのこ かおはよくないけど あかるいところのおんなのこ こいをするときれいになるという わたしもきれいになるのだろうか こいをしてみたい おんなのこはみんなそうおもうのかしら おんなのこにうまれてよかった こんどうまれてくるときも おんなのこにうまれたい これなどは、堂々たる人間讃歌であります。生命の尊厳さ、生きることの崇高さをこのお嬢さんから、そしてそのお母さんから、私は教えて戴いた気が致します。この小冊子の題名は「貴美子のうた」といいます。昭和52年当時三条第二中学校校長、大口好文先生を中心とした当時の先生方、学友たちの共同作品です。たまたま「貴美子のうた」に出合って、いつか皆様方にお伝えしようと思っていた感動をお伝え出来て幸せです。

幹事報告： 今井幹事

◇ロータリーレート変更のお知らせ

現行1 \$128円→7月1日より1 \$140円

◇高田東RC創立20周年記念式典参加御礼が参っております。

◇会員の内藤修君より近火見舞い礼状を頂いております。

◇ガバナー事務所よりガバナーの公式訪問予定表が届いております。

◇三条RC例会変更

日時 6月28日(水) 会長幹事慰労会 会場 二洲楼

ラムについて…・会長より出てきた、年間事業予定に合わせ、プログラムを作成する。・新年度初め、会長指針、四大奉仕部門委員長指針を行なった後、各委員会の方針、活動計画等の発表を行なう。・北ロータリークラブの特性にあった卓話を選定する。・プログラム委員会は、職業分類、会員増強と協力し、例会そのものが会員増強につながる様、工夫する。・新年度初めには、年間プログラムを作成し、各委員会に活動要請する。2ヶ月単位で検討し、実行する。

親睦委員会： 味方義一君

本年度の親睦委員会では、次の3つの工夫を目標としてゆきたい。1. 魅力ある例会運営の工夫。1. 会員相互の親睦を深める工夫。1. 交友を深める工夫。以上の工夫により、お互いにもっと知り合い我がクラブの例会及び、クラブの計画したリレーションや、他クラブとの社交的活動計画への参加を奨励し、又我がクラブの一般的な運営に、会員全員が楽しく出席出来るように努めると共に、家族間との親睦増進にも心を配りたいと思います。

スマイルBOX： 山崎 勲君

クラブの奉仕活動が活発になおかつスムーズに行われるよう前年度の実績をクリアーし、奉仕活動の資金源になるニコニコボックスに皆様方の拠金をお願い致します。

職業分類委員会： 阿部誠一郎君

我が三条北ロータリークラブの発展を持続して行くには、今よりいっそう会員増強をはからなくてはなりません。その為には、会員のひとりひとりが有資格の人を探し会員に推薦してもらわなければなりません。職業分類委員会としましては充填及び、未充填職業分類表を作成し会員の皆様から協力してもらい未充填職業分類表の空白がなくなりますよう会員増強に役立つよう努力したいと思っております。

会員増強委員会： 本間茂男君

ロータリークラブは会員の増強に重点を置かなければならない。成長が止まった時から衰退が始まるように、クラブも増強がなければ、衰えが始まるであろう。増強のために次のことが重要である。若い会員の増強、熱意のある人であり、出席できる人であり、協調性があること。もちろん人格性に問題なく…。以上会員増強のために会員1人1人の努力をお願いしたいものである。新入会員の入会によってクラブ自体が刺激を受け、そして新しい親睦活動が生まれることを願うものである。

広報委員会： 鈴木英友君

今年度、当委員会は委員長はじめ委員は全て初体験であるため、何かと不安要素が多いと思われます。特に週報については、無理なく委員の協力を得て作成し、決まった項目については各関連委員会と事前に打合わせし、原稿提出をスムーズにしたいと思います。又、月に1度密度の濃い週報を作成し内容としては会員の趣味、情報欄を設け、興味ある記事にし会員の見えない部分を見出し会員相互の親睦を計りたいと思います。